

要 点 録

会議の名称	第4回田村駅周辺整備基本構想推進会議
開催日時	平成29年12月22日（金）午後3時00分～午後4時50分
出席者	仁連 孝昭 滋賀県立大学 名誉教授 綺田 新 田村町自治会 自治会長 辻村 忠嗣 田村町まちづくり委員会 委員長 井 経子 社会福祉法人石龍会 チャイルドハウス 園長 川崎 他家廣 長浜地方卸売市場株式会社 代表取締役 松本 秀章 滋賀文教短期大学 副学長 若林 浩文 長浜バイオ大学 理事長 伊藤 寿彦 六荘地域づくり協議会 総務部長
欠席者	畑下 嘉之 社会福祉法人青祥会 理事長 西嶋 照毅 滋賀県長浜土木事務所 所長 本田 智見 一般社団法人長浜青年会議所 新湖北創造委員会 副委員長
	(敬称略)
事務局（長浜市）	長浜市都市建設部：米澤部長 中川技監 長浜市都市建設部都市計画課田村駅周辺整備室：嶋田課長兼室長 塚田副参事 山口主幹
会議概要	1 開会の辞 会議を公開とすることについて報告 2 あいさつ 長浜市都市建設部 米澤部長 3 第3回推進会議の結果について 第3回要点録で結果を報告する。 4 議事 1) 駅前広場や駅施設等の機能について － 事務局から説明 － 2) 主な質疑、意見等（○：アドバイザー、・：参加者、→：事務局）

<田村駅周辺での事業について>

- ・田村駅を中心とするまちづくりビジョン（案）について、道路修景整備とはどういったことを行うのか。
→交通安全の面から、周囲の景観にマッチしたカラー舗装などを考えている。
- ・道路幅を拡げるといったことはあるのか。
→今考えているのはカラー舗装程度である。

<駅利用者増の取組について>

- ・JR 東海の醒ヶ井駅などでは、新幹線が安く乗れるシャトル切符を購入できる。田村駅で購入できるようにするといった交渉は JR とできるのか。
→田村駅は JR 西日本の管轄なので JR 東海の商品を扱うのは難しい。しかしながら、田村駅は駐車場も含めて休日の利用者が少なく、休日の駐車場利用料金を安くするなどして田村駅を使ってもらおう等の工夫を考える必要があると考えている。
- ・坂田駅と田村駅の違いは大きな商業施設の有無。坂田は住む人が増えることにより駅利用が増えているので、田村もいずれはそうなれどと思う。
→駅舎とあわせて計画している駅前ロータリーの整備により、利用しやすさの向上につながると思う。また、田村駅は定期利用で考えると駐車場料金は米原駅よりも安く、こういったことも魅力になってくる。長浜駅や米原駅、坂田駅とはちがった性格があることを踏まえた住み分けを行っていきたい。

<駅周辺のまちづくりについて>

- ・ワークショップなどの結果から、事務局として田村駅は通勤・通学の駅であるという認識を持たれたという点が気になった。田村駅の現状としては間違いないが、もう少し中長期的な観点から見れば、違った答えも出るのではないかと思う。住宅施策等を含めた地域の開発として、新しい長浜の核となる駅にするというイメージを持って考えを広げていくべきである。
→田村駅の主な利用者は実状として通勤・通学者であり、今後の駅周辺整備を進めるうえでもこの利用者層がメインとなっていくことは否定できない。駅の性格が見えたので、まずは利用者にとって使いやすい駅にしていくことが大切ではないかと考えており、そのためにはどういった機能が必要かといったご意見を頂きたい。
また、長浜駅などとの住み分けを考えていくことが重要であると認識しており、琵琶湖に近い・里山があるといった特徴のある田村駅をこういった駅にしてほしいという意見を頂戴したい。
- ・資料6のロータリーの図面だけでは、駅周辺整備を行った結果として学生や観光客、居住者の行動がどうなるのかが見えてこない。点と点を結ぶ動線が示されればそれが見えてくる。例えば、琵琶湖方面へのペDESTリアンデッキを作り、さいかち浜を生かすといったイメージがあるとわかりやすい。
→あくまで目標とするのは田村駅を中心とするまちづくりビジョン(案)であり、そのために市が駅周辺に最低限何をするかを今回はお示した。基本計画の中で駅周辺の動線や開発イメージもお示ししていきたい。
- 田村駅周辺整備は複合開発の一つのモデルを作ることであり、駅と地域がお互い win-win の関係になることが必要である。最近の複合開発の成功例に、立命館大学の茨木新キャンパス

がある。茨木市が大学に隣接した公園を作り、大学側も一般の方が飲食できるスペースを提供したところ、市民が公園と食堂に集まるようになった。田村の場合、駅と新規住宅開発、既存宅地、大学、ドーム等のいずれにとっても得になる仕組みを考えていかないといけない。今回は、皆さんが議論したいと思っている内容とは少し異なるので、次回はそういったことをもう少し議論してはどうか。

- ・例えばバイオ大学の食堂を開放するとした場合に、駅東側からの動線をどうするかといった点が気になる。大学の食堂の一般開放や子ども向けの実験教室といった点で協力することは可能。

○大学が一般開放をする場合には、駅と大学をどうつなぐかが重要となる。

→今日は駅前広場の機能などの内容をお示ししているので、どういった動線をつなげていくかといった点は次回により具体的な検討をしていきたい。駅周辺整備全体が複合的に並行して進めていけるようにしたい。

- ・まちづくりビジョンがあつてのまちづくりとなり、資料2では市主体の事業とその他で分けているが、業者が行う事業でもまちづくりビジョンを前提とした開発となるようそのコンセプトを示してもらいたい。

→駅の東、西の方々のご意見をお伺いしながらコンセプトとなるイメージを具体化していく必要があると考えている。

- ・民間開発はふたを開けてみないと分からない部分もあるが、進められるところは進めていってほしい。例えば、湖岸緑地整備の促進のほか、公共事業・公共施設として予定されているものや要望としているものもまちづくりビジョンに示してほしい。

→今の段階で予定されている事業であれば書くことができるが、全く予定のないものを要望だけで計画に記載することは難しい。一方で目玉の事業を何にするのかという点については推進会議で議論できるところだと思う。湖岸緑地については、もっと活用してもらうために駐車場などの整備が必要かと考えている。

○駅周辺で人を集めるためにはパブリックスペースが必要。大学も半分パブリックだが、一般の人は入りづらい。駅西側の施設や卸売市場も関係者しか行かない。パブリックスペースとしてあるのが田村山と湖岸緑地だけで、現状ではあまり長く滞在できない。商業施設もパブリックスペースとなり、これらのパブリックスペースが連坦して駅を中心につながっていくと魅力的なまちになる。

→駅西側については、駅から湖岸までの回遊性を持ったオープンスペースづくりという踏み込んだ内容をまちづくりビジョン(案)に書かせていただいている。東側では、道路修景を書かせていただいている。駅との関連も含めて基本計画にどう書くかを今後整理していきたい。

- ・田村駅周辺に新たに居住する人を集めるにあたっては、市内からの移動だけでは意味がなく、市外からも来ていただける魅力ある場所にしなければいけない。駅の利用者増と人口流出のダム機能は別に考えなければいけないと思う。

→それぞれの機能と東、西のエリアの特性を踏まえて基本計画に示したい。

- ・一本でも道ができると大きくイメージが変わると思う。その場合に大学の駐車場の一部を提供するといった面で協力することはやぶさかではない。お互いにwin-winの関係になれる。

→そういったご意見を検討させていただき、基本計画に書き込んでいきたい。次回の推進会議では、パブリックコメントに向けた基本計画の素案としてまとめたものを提示する予定なので、ご意見を踏まえて素案をまとめていきたい。

- ・待機児童の解消といった行政として取り組むべき課題を田村周辺の地域としてはどうするか、といった視点も持ってほしい。自分が住む場所を決めるのであれば、そういった点も参考にする。
→そのような点についても、長期的には考えていく必要がある。基本計画の中では、中短期でできることについて整理していきたい。
- 駅東側の空地がこのままの状態では魅力的なまちになってこない。ぜひ地元と協力しあって住宅地整備を進めてほしい。
→基本計画の策定に当たっては、より具体的なことを盛り込めるように地元と話を進めていきたい。
- ・基本計画策定までに、推進会議で議論する場はどれだけあるのか。
→推進会議はあと2回を予定しており、今回はパブリックコメントに向けた素案をお示しする。その後、パブリックコメントを踏まえた最終案にもご意見を頂きたい。
- ・将来構想として、5年や10年後にまちがどうなるといったイメージを示すことが必要。
→基本計画でお示ししていきたい。
- 駅舎だけでなくまち全体を考えていくことが重要。この地域の魅力のひとつは眺望だと思う。冬は伊吹山がとてもきれいで、琵琶湖も良く見える。眺望を生かして、駅を展望台にするなど、この地域一帯を発展させる方法を考えていきたい。

<卸売市場について>

- ・アンケートでは市場の活用という意見があったが、卸売市場は一般消費者に販売する機能を持っていない。年に3回ほどの開放日や市場見学などを行っているが、いつでも買い物できるようにするというイメージは持っていただかない方がいい。いずれ、駅周辺整備が進み、住宅が増えてきた際には、市場の移転といったことになるであろうとは考えている。5年後に周辺整備が進み、採算ベースにのる環境が整えば、卸売市場が店舗を出すこともありえる。市場開放も以前は月に1回行っていたが、客足が減ったことで、回数が減った。周辺整備にあわせて回数を増やすことを考えてもよい。
→市場を活用したまちづくりについては、かなり意見が多い。場所も駅に近い魅力的な場所である。現状を踏まえた上でなんらかの策を打たなければならないという思いはある。市場の話についてはまた個別により具体的な話をしていきたい。
- ・卸売市場については卸売市場法の改正が平成30年に国会で審議される予定であり、今後扱いが変わってくる可能性もある。これによりいろいろなことができる可能性も今後ありうる。

5 その他

次回の推進会議は1月中の開催を予定している。

以上